三池炭労

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町二
電話3033番
編集兼発行人　鶴　玫

強力な職場闘争を

炭労 第21回臨時大会おわる

炭労第二十一回臨時大会は、九月二十五日から六日間東京中労委会館でひらかれた。この大会は一九五八・九年度の行動方針、賃金、期末闘争方針、来春おこなわれる参議院ならびに地方選挙闘争方針がおもな議題で、行動方針では不況のしわよせの一切を一方的に労働者におしつけようとする資本家の企業合理化など一切の攻撃をはねかえすため職場闘争を強化し、闘う組織体制をかため、平和と権利を守る闘いにも力をそそぎ、力強い闘いをつづけることになつた。以下、出席代議員をかこんで大会の模様を語つてもらつた。

写真は炭労臨時大会の会場風景

激化した敵の攻勢

宮川　代議員の皆さん長い間たいへんご苦労様でした。大会の開催中二十二号台風にあい、交通も途絶えて苦労されたこともききました。早速大会の内容に入りますがまず中心問題は何といつても行動方針だと思いますが、とくに重点に論議された問題はどういうものがありましたか。

境　行動方針提案のまえに一般経過報告がありました。一般経過報告として、中央からと各地方本部から去年一年間の闘いが報告されたが、特徴としていえることはすべてが敵のはげしい攻撃との対決であつた。そのほか北海道から報告された三菱美唄の野呂君の首切りをめぐる闘い、王子闘争の問題、九州からは、これはこんどの九炭労大会でハツキリさせることになつている中興の闘い、二瀬の闘いは別の議案でもだされた結果炭労全体の闘いとすることになつた。全般的問題としては勤評反対闘争での九月十五日の統一闘争についての批判等があつた。

以上のような報告をうけ、去年の闘いの欠陥を克服してどう闘うかがすべて今年の行動方針の中にもりこまれた。議論の仕方は大会で提案され、大綱的な討論の後、小委員会にうつされ、三池から久保田副組合長が小委員会に出席され十分に討議をしたわけです。

行動方針の中心としては三池の対策でも明らかにしたように、不況のしわよせとして敵は企業合理化の攻撃をしかけてくることを十分認識し、これと対決する態勢をつくること、そのために職場闘争について意志統一をすることにあつたわけです。

自己批判から闘いへ

宮川　企業合理化との闘い、生産性向上運動との闘いが大きな問題だと思いますが。

久保田　これは大会議案書「われわれはいかに闘つてきたか」の中にある五千三百トンに対決するという昨年の方針に対して、われわれはどう闘つたか、これをどう自己批判するかと、生産性向上運動反対についての摘出が不足しており、この問題をよく分析しないと今年の行動方針につながつていかないと論議された。五千三百万トンにどう対決するかと生産性向上運動に反対する闘いに関連しているが、中心は保安確保の闘いを一斉一時間休憩の闘いをどう各支部が現場で取組んだかにつながつている。

この点ではほとんど闘いの方向は認識されたが、実際の現場では行動方針と山元での闘いは密着していないと自己批判された。こんどはあくまでも一斉一時間休憩、保安確保の闘いを獲得するとの前提に立ち、一斉一時間休憩のときは一時的には賃金が下つてもよいとの覚悟が必要だと意見の一致をみた。山元では公休を返上したり、残業で増産している実態を各自がよく知り、本当の意味で批判することになつた。

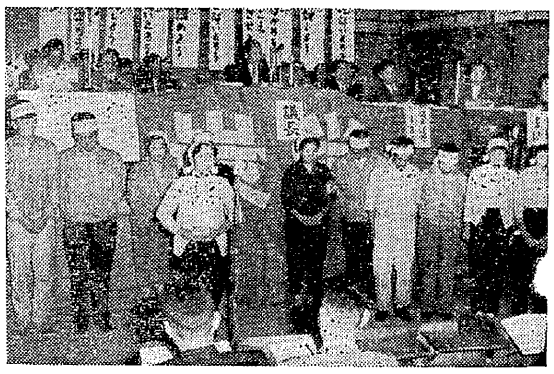
闘う力は職場闘争で

久保田　今年とくに職場闘争が必要だとの特徴があるが、それを論議する前に、まず敵の分析から入つたがよいと思う。敵の分析と今年の闘いのあり方、その中から職場闘争の必要性を三池としては主張したが、まず敵の分析について行動方針の世界情勢分析の中で若干の甘さがあり、(1)資本主義自体の中からの矛盾が恐慌をもたらすが、その恐慌が資本主義体制を危機に追込んでいる。そういうふうに直接むすびつけている所に大きな問題がある。(2)現在の世界的な情勢は社会主義経済の発展、民族主義の発展、労働組合の発展で資本主義が根底から崩れようとしているように甘く見るのは正しくない。(3)日本の独占資本がアメリカと従属関係にあることはわかるにしても、戦後急速に立直りをみせている日本の独占資本が、ヨロめいているとの分析は甘い。(4)最近の闘争で金額的にはある程度の成功をみたが、これは神武景気の波にのつたことを忘れてはならない。これをどういうふうに分析しているか。即ち、独占資本はこの不況をのりきるため攻撃をはじめている。これは枠島闘争、三井美唄、日鉄二瀬など一連の闘いである。

宮川　その意味で、こんどの行動方針を十分認識し、現場で闘う意思の統一をすれば、今年は大きく前進するでしよう。それと行動方針のなかで、闘いを進めて行くためには、職場闘争に対する認識の仕方が炭労全体としてはマチマチではなかろうかということで、職場闘争をどう認識し闘いを進めるかはどう論議されましたか。

以上のような主張をしたわけです。

そこで今年の闘いだが、春の闘いではいくつかの批判はあつたが、組織をあげて百日から闘い抜いて三十四円五十銭がとれた。敵の力は炭労が分析しているように強腰だし、さらにそれをのりこえて額上げをするためには、われわれの力をそれ以上に増大しなければ要求はとれないと考えねばならない三池としてはその闘かう力をつくるのは職場闘争だと考えた。炭労の主張する職場闘争をみると、車の両輪だというような主張、職場闘争と統一闘争は二本柱だと主張している。これについてわれわれは職場が強くなることは、統一闘争が強くなることだし、統一闘争の強さは職場でもつている力であるという意思の統一をする必要があるという主張を中心に論議を進めていつたわけです。



連日闘つている王子の仲間たちが大会で挨拶した

宮川　炭労の考えはわれわれの闘争力を高めることは職場闘争を基盤として高めるということに確認されたわけですね。

久保田　最終的には三池の主張をいれてくれて、統一闘争を大衆闘争として発展させるため、職場闘争をさらに発展させようということになつた。

宮川　こんど賃金をあげるためにも生産性向上運動と対決しようという態度のなかにも、一斉が職場闘争の基盤であるということがあきらかにされたことは前進だと思う。

境　敵は二瀬、三菱、美唄などいろんな面で組織に攻撃をかけている。それもいままでのような単純なものでなくてそれと対決する態勢を職場闘争でつくろうというのが行動方針の一つの柱になつたわけです。

宮川　政党支持の問題は？

久保田　炭労が綱領にしたがつて歩いてきた道は批判する意思はないが、団体として政党に加盟するとか支持するとかは、いま論議すべき問題ではなく、企業合理化の闘いを闘いぬくというときに、内部混乱をおこすことはやるべきではないとの意見が圧倒的だつた執行部から原案が撤回され、満場一致で現行どおりいくことが確認された。

期手は二万六千円要求

宮川　賃金、期末手当がつぎに大きな問題だがこの点について。

蓮尾　まず賃金ですが、従来大衆討論のため討論集会などをやり中央で集約し機関に提案していたこんどはこのような形がとられていないので、大衆討議を経てつぎの炭労中央委員会できめることになつた。昇給と年令勤続給をどうかみあわせてゆくかなどの憂慮がかわされたが、大衆討議におろすことになつた。

宮川　つぎに期末手当は。

蓮尾　将来年間臨給制として、二期分一緒に闘うことが提案され全体的な闘争スケジュールの中で論議されたが、三十四年上期まではいままで通りの方式とし、三十四年下期から二期分あわせて闘うことになつた。だから、こんどの期末手当要求は二六・〇〇〇円にきまつた。重点ストカンパ方針が提案されたが、中執では職連会議の決定を尊重し、職組のおかれている実体と炭労外職組との関連から、組織問題を考え、カンパの職鉱比は賃金闘争の場合一対一・二期手闘争の場合一対一・五に修正提案されそのようにきまつた。

宮川　つぎに諸闘争へのカンパが大分きまつているが、それぞれのカンパ内容とどれ位カンパしなければならないかについては。

田中　まず中興、生田、枠島のカンパが七十円、王子が追加提案され全部で百円カンパになつた。

七項目に三権移譲

宮川　重要な議案と考えていた来年の参議院、地方選挙については。

蓮尾　選挙資金は予算の中で一括審議され七十円の予算もふくめて提案通り決定されました。

阿具根さんの全国区参議候補も公認を決定しました。

宮川　つぎに三権が確立された内容が多いと思いますが。

蓮尾　全部で七項目にわたり投票した。賃金闘争、最低賃金闘争の指令権、三十三年度下期の三権保安闘争指令権と保安闘査団入坑の三権、長計闘争、企業合理化闘争（企業整備もふくむ）、一支部または数支部へのロツクアウトに対する指令権、以上の七つです。

予算は五円を値上げ

宮川　予算ですが、三池ではできるだけ切りつめようということになつていたが、どうなつたですか。

田中　小委員会が構成され、山野から出てもらつた。三池からはオブザーバの形で出席した。三池の考えはすべての経費を節減して六円五十銭の値上げを、できるだけ引下げることだつた。それで旅費、給与規程は改正しない考えで西鉱連でも考えをまとめた。小委員会の空気はほとんど執行部案を支持するもので、旅費ならびに給与規程の一部を改正することになつた。また、六円五十銭の値上げは何とか押えられると考え、各費目の節減をはかり、最終的には五円に落着いた。

仲間は毎日倒れている

宮川　一つ注意しなければならないのは、大会開催中多くの現職犠牲者が出ている。これは保安闘争を活ぱつに行わなければならないことをおしえていると思うが…

境　大会開催中それぞれの山から殉職の連絡があり、大会としては犠牲者に用いの電報をうち、会社に抗議をしようと動議がだされ決定した。毎日のように動議がだされいまさらのように驚いたが、大会中このような動議がだされたから自立つたわけです。日常われわれの職場から同志が姿を消していることを直視して、さらに保安確立の闘いをすすめねばならぬことを痛感しました。

宮川　そのほかの問題ではどんなことがありましたか。

境　日鉄二瀬の闘争を炭労全体の闘争として取りくんでいくことにきめたこと。カンパのところでもふれたが、王子闘争支援として三〇円のカンパをきめたこと。平和闘争、権利闘争にも本腰をいれてかかることを意志統一したこと政府が考えている生協しめつけの反動立法を粉砕するための決議をしたこと。総評大会の決定とも関係があるわけだが、炭労に総評担当部長を一名増員し三菱崎戸の石川さんを選任したことなどがあります。

宮川　どうもおつかれでした。中央委員会報告を通じて、組合員に十分大会決定を消化して実践にうつしていきましよう。

大会宣言

われわれはこの大会で、われわれのおかれている情勢がきわめてきびしいものであり、これからの闘いがいつそう困難なものになることを分析した。

深まりつつある世界的な恐慌は資本主義の体制そのものの土台をゆりうごかし、そのことが国際的には台湾や中東にみられる帝国主義勢力による戦争の挑発、国内的には勤評や道徳教育のおしつけによる民主教育の破壊と軍国主義復活への野望、さらに労仂運動にたいする仮借ない弾圧となつているからであろう。

こうした情勢のなかで、われわれにかけられる敵の攻撃はなにか。

その第一は、石炭資本がみずからの支配体制の維持と利潤の増大のため、合理化攻撃を唯一のきめてとしてわれわれに対決を迫つてくるであろう。そして第二には、そのために最も障害になる労仂者の組織的抵抗を排除するため、炭労組織の破壊のための公然たる攻撃が企てられるであろう。

われわれはこの大会で、こうした敵の攻撃にたいしては、まず生産点における職場の闘いを通じて敵の搾取と合理化、組織破壊の体制を粉砕し、さらに職場闘争の質的たかまりのなかで炭鉱労仂者全体のもろもろの統一した闘争、さらに全労仂者、全国民の闘いを組織することによつて、これをはねのけることを確認した。

さらにわれわれは、もはや純粋な経済闘争だけではわれわれの生活さえまもることができないことを知つた。労仂運動の権利を擁護することはもちろん、平和と民主主義をまもりぬくための闘いで、すべての民主勢力と結合し、全力をあげて闘うことの意志統一をおこなつた。

これらの闘いは文字どおり苦難にみちたものとなろう。だが、それをのりこえることなくして明るい明日はない。全国の山から山がわきたち、燃えさかる闘いの火の手をあげよう。そして、それを全国民的な一つのほのおとなつたとき、われわれの闘いは真に勝利の道をきりひらくものであり、われわれはあらたな決意をもつてこれに向つて前進することを誓うものである。

右宣言する。

一九五八年九月三十日

日本炭鉱労仂組合

第二十一回臨時大会